

# 建築人

2026  
5

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.743





このページの新企画「建築人×写真人」の掲載希望建築物を募集しています。本企画は会員が手がけた建築作品を、写真家MOAIによる独自の視点と表現で、どのように“料理”されるかを楽しんでいただく企画です。写真家MOAIの作風は、ハイコントラストや強めの色彩によって日常を非日常へと変換します。建築が竣工写真などとは大きく印象が異なる“新しい姿”に生まれ変わることを楽しんで頂ける方を歓迎いたします。皆さまが関わられた建築が、写真家の視点で新たな物語を紡いでいきます。会員の皆さまの応募をお待ちしています。

「MOAIの独言」

日々心に引っかかった光景やモノをスマホで撮影、加工した作品  
私が惹かれるのは  
蓄積された時間が感じられるモノや光景  
自然の造形物  
今その時しかない光  
固定概念にとらわれず自由に感じてください

Photographer MOAI

岩手県盛岡市出身  
1985年大阪芸術大学卒  
同年広告企画制作会社にカメラマンとして入社  
あらゆる業種業態のクライアントの撮影に携わる  
1996年フリーランスとなりPhoto Office MOAI設立  
大阪を拠点に広告写真を中心に活動中

# 建築人

2026.05 No.743

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

- 2 MOAIの独言
- 4 Gallery 建築作品紹介  
「ヌーヴェル赤羽台 16号棟」  
建築主：独立行政法人 都市再生機構 東日本賃貸住宅本部  
設計：遠藤剛生建築設計事務所  
施工：長谷工コーポレーション  
「TUKI3 COFFEE」  
設計：藤本高志建築設計事務所  
施工：天草サダ商店  
「守口市西部コミュニティセンター レクリエーションホール」  
設計：アルキービ総合計画事務所  
施工：豊徳建設
- 8 第5回近畿学生住宅大賞 報告
- 10 News of Note
- 11 Topics
- 12 Information
- 14 令和8年度 定時総会・記念講演会のご案内
- 16 動静レポート
- 18 記憶の建築  
「慶応義塾幼稚舎」1937～2002年  
学び舎を通じた環境教育の試み / 松隈 洋

## 建築人 No.743 2026年5月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：松下典央

委員長：武藤優哉

編集人：河野 学 荻窪伸彦 笠松哲司

川北武志 小谷美樹 昇 勇

中北 力 春岡須磨子

三谷勝章 村上栄司 山本恭史

事務局：辻本和人 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和8年5月1日発行

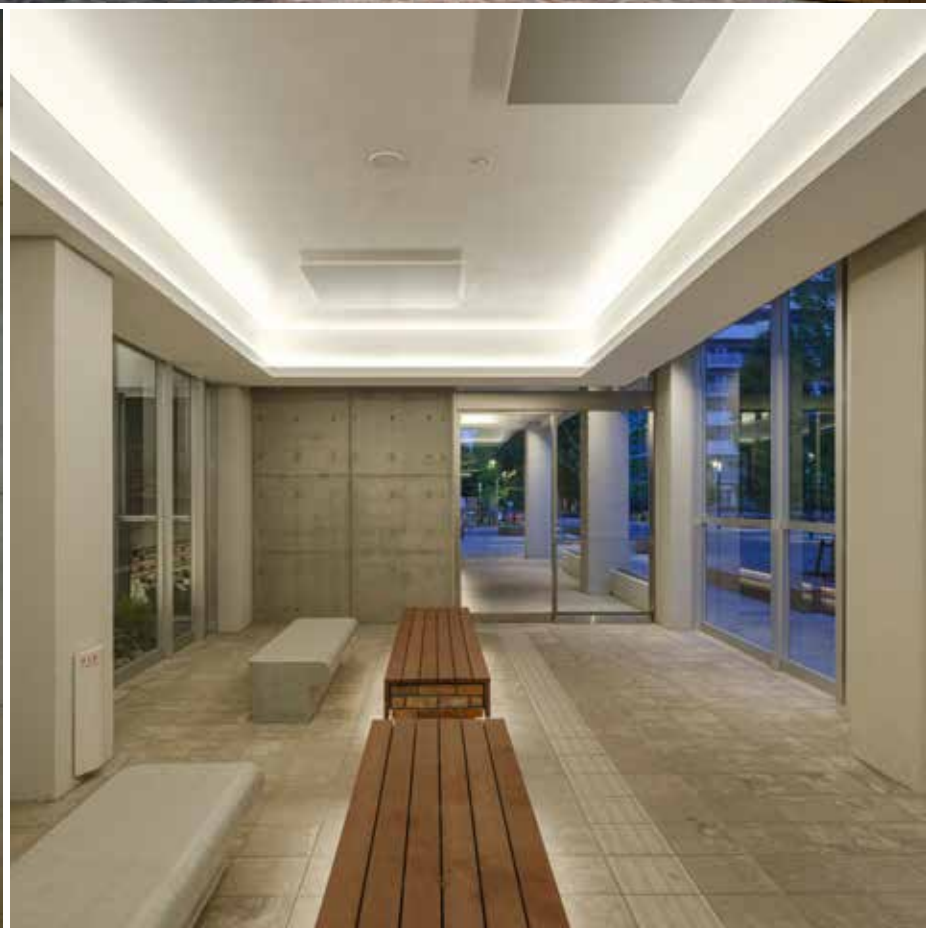
発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

# Gallery



# ニューヴェル赤羽台 16号棟

建築主：独立行政法人 都市再生機構 東日本賃貸住宅本部  
設計：遠藤剛生建築設計事務所  
施工：長谷工コーポレーション



旧赤羽台団地は旧陸軍被服本廠の跡地に日本住宅公団が建設し、1961年度に管理開始された55棟、3373戸の団地でした。旧赤羽台団地は平行・直行配置、囲み型、スターハウス等、異なった住棟形式に中層・高層と高さの変化も加えられた団地だった。  
ニューヴェル赤羽台では沿道型街並形成が目指され、囲み型住棟を配置したABCD街区と本16号棟が位置する、長さの異なる住棟を組み合わせたF街区（上写真赤枠部）によって、イチョウ通りや直行するメインストリートに対し街並形成の役割を果たす一方、F街区内部には路地や広場を設け、居住者憩いの場としての一端も担っている。F街区の竣工を以て、20年に渡る建替え事業が2025年に完了した。（遠藤剛生）

所在地：東京都北区  
用途：共同住宅  
竣工：2024.02  
構造規模：RC造  
地上12階  
敷地面積：6,026.45㎡  
建築面積：1,607.88㎡  
延床面積：11,639.00㎡  
写真：松村芳治



神社から見たTUKI3 COFFEE



2階店内



改修前



改修後

大阪市福島区の大通りに面したこの敷地は、南側に住宅が迫り、北側に神社が隣接しています。  
 南側に対して建物を閉じる一方、北側の神社へ向けて柱間をすべてガラス張りとし、視線を自然と境内へと導くようにしています。  
 小さなカフェの内側にながら都会の街並みを遠く感じつつ、神社の中にあるような広がりのある場所になることを目指しました。  
 また、もともと周辺より小さなボリュームであるこの建物は、ファサードの壁をさらに控えることで、街に対して主張しすぎず溶け込むようにしています。  
 都会の中に、ふと立ち寄りたくなる場所として根付いてほしいと思い設計しました。

所在地：大阪市北区  
 用途：飲食店(カフェ)  
 竣工：2025.06  
 構造規模：W造(地上2階)  
 敷地面積：34.99㎡  
 建築面積：25.94㎡  
 延床面積：45.75㎡  
 写真：高橋菜生写真事務所



地域の人々の交流促進と災害緊急時に必要な場所と機能を確保する目的より、集い施設と球技を楽しめる公園を計画したものである。敷地は、旧さつき小学校跡地であり、近接する西部コミセンに附属するレクリエーションホールとしてスポーツコミュニティを生む多目的な環境を目指している。建物は、ハイサイドの電動ブラインドで調光された自然光による柔らかな木質空間と公園に連続するウッドテラスの設置など、開放的な憩いの場を形成している。敷地内を貫く道広場は、自家発電設備や井戸とマンホールトイレ、雨水貯留式グラウンドやカマドベンチ等のメンテナンスエリアとして重要な役割を担っている。（久保清一）

所在地：大阪府守口市  
用途：体育館  
竣工：2021.12  
構造規模：RC、一部S  
平屋建て  
敷地面積：1,881.05㎡  
建築面積：1,007.67㎡  
延床面積：855.53㎡  
写真：松村芳治

# 第5回近畿学生住宅大賞 報告



田代加奈 (建築表彰部門 委員)

## ■近畿学生住宅大賞

未来の建築士である学生の住宅設計課題を対象とした、コンテストである「近畿学生住宅大賞」が第5回目を迎え、最終審査・表彰式が行われた。この賞の特徴は、他のデザインコンペと異なり、各大学・専門学校で1回は取り組むであろう住宅設計課題を対象としているところにある。作品は過去の課題であっても構わないが、応募資格は大学1~4年生までの年齢に限られる。大半の学生は夏休み期間にブラッシュアップしコンクールに合わせて仕上げてくる。作品は9月にデータで提出する。

応募期間は、2025年9月1日(月)から9月22日(月)、近畿圏内の建築系大学、高専、専門学校に在籍する学生(大学院生除く)を対象に広報をし、第5回は63点の応募があった。



学生住宅大賞第5回目募集リーフレット

## ■審査について

審査は、応募された図面による一次審査、図面・模型及び設計者の公開プレゼンテーションによる最終審査の2段階方式で行われる。一次審査で5人の審査員より選出された上位約13作品は、入賞の対象となり最終審査へ進むことになる。一次審査通過者は公開審査会場に図面、模型を展示した上で、順次プレゼンテーションと質疑応答を行い、各賞を決定する。また本賞に合わせ全応募作

品から、協賛企業が選出する企業名を冠とした「企業賞」も設けられている。

## ■審査結果について

5人の審査員による厳正なる審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞3点の他、入賞7点と事前に企業賞9点(重複含む)が選出された。

### <最優秀賞>



- ・ナノ二住宅  
川向世瞳(神戸芸術工科大学)

### <優秀賞>



- ・暮らしと街のひととき  
平出さつき(京都美術工芸大学)



- ・道にすまう  
楠部のどか(近畿大学)

### <奨励賞>

- ・舞台「 』  
伊藤舞織(大阪公立大学)
- ・次代の京都市のくらしの手引き  
有吉一騎(京都美術工芸大学)
- ・みかん段の家  
峠 彩音(大阪芸術大学) ※

### <入賞>

- ・森浦航大(大阪公立大学) ※
- ・伊藤 楓(大手前大学)
- ・大寺ちひろ(兵庫県立大学)
- ・小野陽菜・亀井悠衣・所司 葵  
(奈良女子大学) ※
- ・小村菜々香(滋賀県立大学)
- ・竹内剛偉(京都芸術大学)
- ・横山明日香(立命館大学)

### <企業賞>

- ・飯坂亮太(大阪芸術大学)
- ・田中結菜(福井工業高等専門学校)
- ・藤木睦実(滋賀県立大学)
- ・清家彩花(近畿大学)
- ・寺村泰則(畿央大学)

## ■審査を終えて 審査員の感想

第5回を区切り審査員が変わるのでひとこと一例年に比べると一次審査の提出物が軽いタッチで、内容を掴みきれないものも多く、評価しづらい印象であった。しかしながら、二次審査で選ばれた作品の発表を聞いていると、よく考えられていて、面白い作品がたくさんあった。もう一步踏み込んで、自分自身の「何故」「どうして」「モヤモヤする」を解決する糸口を建築に置き換えることをやってみることで、違う景色が見えてくる瞬間があるのではないかと思います。(阿曾実氏)  
環境の変化は新しい課題を生成し続ける。それにより新しい解答を探し続けることとなるのは住宅設計だけではない。「もうこれで良い」というところに辿り着くことはない、やりがいのある(?) 果てしない航海に学生みんなも漕ぎ出したようだ。(河合哲夫氏)  
毎年、事前の資料だけでは読み解けない熱量があり、審査の場で実物を前にハッとさせられることが多いのだが、今年もやはりそうだった。来年からの、この賞の行方を楽しみ

にしています。 (島田 陽氏)  
 審査を通じて伝えたかったのは、自ら立てた課題に対して、最後まで建築で答え切ることの大切さです。成立の理由を運用や説明に委ねるのではなく、設計そのものによって示そうとする姿勢を、今後も期待しています。

(白須寛規氏)

「住宅」は普遍性が高い、世界共通の物理的構造物である。しかしそれゆえに空き家問題やシェアリングエコノミー、グローバル経済などさまざまな社会課題に直結し、その姿は揺らぎつつけている。学生のみなさんには柔軟な発想で、かつ広い視野を持って住宅課題に挑んでほしい。 (平塚 桂氏)



優秀賞(平出さつきさん)の図面と模型



協賛企業と学生との交流審査会場



優秀賞(楠部のどかさん)の図面と模型



最優秀賞(川向世瞳さん)の図面と模型



企業様と一緒に受賞者記念写真

### ■最後に

学生の皆様は是非、第6回近畿学生住宅大賞にご応募ください。また本コンテストにご協力いただきました、審査委員、協賛企業、近畿建築士協会の皆様に心より御礼申し上げます。

### ●審査委員(50音順)

阿曾美実/阿曾美実建築設計事務所  
 河合哲夫/竹中工務店  
 島田 陽/タトアーキテクト  
 白須寛規/design SU 建築設計事務所  
 平塚 桂/ぼむ企画

### ●協賛企業(50音順)

建築資料研究社/日建学院  
 株式会社ジョインウッド一級建築士事務所  
 積水ハウス株式会社  
 株式会社総合資格  
 大和リース株式会社  
 株式会社ナカムラ  
 安田株式会社  
 株式会社山弘  
 吉田製材株式会社

### ●主催:近畿建築士会協会

(公社)滋賀県建築士会  
 (一社)京都府建築士会  
 (公社)大阪府建築士会  
 (公社)兵庫県建築士会  
 (一社)奈良県建築士会  
 (一社)和歌山県建築士会

### ●近畿学生住宅大賞HP

<<https://www.abaosakafu.or.jp/kinki/index.html>>



過去の作品は、上記HPからご覧いただくことができます。

## 住まいのメソッド ～CASE\_01 高橋勝建築設計事務所～

建築相談委員会 住宅を設計する仲間達部会 代表 眞木利喜太

2月27日、まだ肌寒い週末の夜に堺筋本町近くのβ本町橋にて、「住まいのメソッド」シリーズがスタートいたしました。

住宅を設計する仲間達部会は、今年令和8年で結成30周年を迎えます。毎年、何等かのイベントを企画してきましたが、今回から装いも新たに「住まいのメソッド」と銘打ち、“住宅を設計する建築家をお招きして、その設計手法を深掘りしていこう”というテーマで講演会シリーズを始めました。

その第一回目にお迎えしたのが会場であるβ本町橋の設計者でもある建築家の高橋勝氏です。

β本町橋は、阪神高速の高架下を流れる東横堀川のほとりに2021年7月に完成した大阪市との事業協定で生まれた新しい形のパブリックスペースで、スケルトンな外観から内部の木の構造が見える魅力的な建築です。

本町橋や東横堀川周辺の公園と一体となり都会の憩いのスペースとして人気があります。

設計者ご本人に設計の工夫をいろいろとお聞きできるということで企画段階からワクワクしていました。

もちろん住宅をテーマとしていますので、住宅のお話とどのようにリンクしていくのかというのにも興味があったのですが、高橋氏はとても巧みに話を構築して、一見バラバラのような個々のお話が、まるで建築を設計す

るように一つの形にまとまっていく、その構成も見ごたえ聴きごたえがありました。

旅先のアジア各地で出会った風景から始まり、それを氏が育った環境で再発見される原風景の話。建築が風景に馴染んでいる姿がその地の建材によって素朴な技術でかなえられているという話。

建築途中の建物の姿に木造の魅力を覚えた話。住宅医の資格を持つ氏がその目線からの改修設計の心構え。京都の山すそで建てた2つの住宅の設計手法。

β本町橋における各部のディテールが敢えてローテクに徹している意味。祭りやイベント用テントを組み立て式の木造で造る試み。これら全てが一つのテーマに収束していく流れがとても気持ちよく、ストンと腑に落ちる感覚を覚えました。

新築、改修、仮設建築物に関わらず、ローテクで汎用性のある建て方というのが、時代を超えて建物を長く使っていくための手法である。

ローテクで汎用性のある事によって、何十年先に他の誰かがその建物を直そうとするときに、一目で仕組みがわかり、大工さんが手作業で直す事ができる。

長い建築の寿命に対して、自分達はそのひと時を担うのだから、しっかりと次につなげて行くための造り方をしなくてはいけない。そういう建築、住まいを目指しておられるのだと理解しました。

もっと多くの事を語られていましたが拙筆のためお伝え出来ない事が残念です。

当日は、39人の参加者が集まりました。

中には遠く福井から来られた学生さんもおられました。

質問も活発で、それにひとつずつ丁寧に答えておられ、全体的に今回のイベントには熱気を感じま



講演風景

した。

会の後の同会場での懇親会には、26人の方が参加してくださいました。

高橋氏が、図面の製本をお持ちいただき、閲覧も自由とさせていただいたので、懇親会の間、多くの参加者が熱心に図面をめくっておられたのが印象的でした。

「住宅を設計する仲間達」は、委員の高齢化が悩みです。

今回、意図的に40歳以下の方の参加費を低めに設定していました。

それが功を奏したのかもしれませんが、比較的若い参加者も多く見かけました。

挨拶時にもお話したのですが、普段あまり直接会うことの無い建築家と企画を通じて話をする機会というのはとても楽しいことです。自分もひとつ企画側として参加してみようという方がおられたら、是非一緒にやりましょう。

今期もまた「住まいのメソッド」を企画していきます。

住宅設計の勉強会・講演会シリーズとして広く認知され、多く設計者の学びを得る場となる事を目指し、これからも頑張っていこうと思います。



β本町橋

## 高槻城公園芸術文化劇場見学会

日程：令和8年3月19日(木)  
会場：高槻城公園芸術文化劇場  
参加者：122名

高槻城公園芸術文化劇場は緑に囲まれた高槻城公園エリアに立地します。城下町の格子戸をイメージさせる縦格子の木材(ルーバー)で囲まれた外観は公園の風景と調和し、1505席の大ホール(トリシマホール)や205席の小ホール(太陽ファルマテックホール)のほか、11のスタジオからなる市民劇場です。高槻城を思わせる塀や堀を再現し、2023年3月にオープンしました。今回の見学会では、設計者を担当された株式会社日建設計の設計者より高槻城公園芸術文化劇場の設計において工夫し、配慮されたことについてご紹介をいただきました。最初に江副敏史デザインフェローより、これまで設計された建築物を通して建築設計に対する考え方を伺うとともに、高槻城公園芸術文化劇場の設計コンセプト、外装デザイン

等についてご講演いただきました。高槻市には山が多く、高槻市北部に位置する北摂山系の森の木を使い、緑と歴史でつなぐ「市民の杜」を目指したとのご講演がありました。設計を担当された多喜茂氏からは、見やすく・聴きやすく・使いやすいホールを設計する際に配慮したことや、施設を「小さくつくる」ことが結果として、環境負荷低減につながっているとご講演がありました。設計を担当された高畑貴良志氏からは、木を大切に余すところなく使うために配慮したことについてご講演がありました。設計を担当された差尾孝裕氏からは、木と呼応する外壁のリブ付きプレキャスト壁版や、天井にコンクリート表して仕上げられたプレキャスト床版の制作など構造材料の設計に関するご講演がありました。

白沢吉衛(研修委員会)

音響設計を担当された中川浩一氏からは、大ホールの音響装置として活用した木キューブの効果に関するご講演がありました。講演後、建物内を見学させていただき、建築的な仕掛けを適宜説明していただく中で、講演内容がどのように具体化されているかをリアルに実感できる機会であったと思います。本見学会を無事に終えることができ、講演会に協力いただきました高槻城公園芸術文化劇場関係者様をはじめ、講師の皆様、後援団体の皆様、参加者の皆様に対して、この場を借りて心より御礼申し上げます。



## Talk Relay わたしの推し 「旅が好き!(特に海外)」

この記事を書くのに数えたところ恐らく24回・計約184日間程度は海外を旅したと思う。私の旅好きの始まりは、幼稚園入園前から友達の家にお泊りしだしたところからだと思う、時には1週間近くも。そして海外への興味は母が祖父の仕事の関係で当時の中華民国天津市フランス租界で生まれ終戦の1年前に帰国?、今風に言えば帰国子女でした。父も米国旅行をした海外の話をしていました。私が中学・高校時代になぜかマレーシアやインドの方と片言の英語で話す機会があり、学校の英語は苦手でも英会話は何とかなんと変な自信がありました。大学時代20歳の頃、自分自身は貧乏学生でしたが世間はバブル。大学で30日間のロサンゼルス語学ホームステイの募集があり、行きたい気持ちはありましたが、絶対ムリとあきらめていました。しかし、家に帰ると「両親が株で儲かった!」と話していたので勇気を出してダメ元で相談したとこ

ろ「浪人せず大学に入学出来たから行ってこい!」との思いがけない返事!気が変わらないうちにすぐ申込みました。そこで自分の人生が大きく変わりました。ホームステイ先はLAから約1時間のリアルト市、金曜日の夕方に到着し、その夜に早速近所で拳銃発砲事件があり月曜日に学校に行くまで英語のみの会話で不安な3日間を過ごしましたが、ホームステイ先のご夫婦から発音等を習い、おかげで約2週間後には辞書なしで簡単な英会話は出来る様になりました。こうなると怖いものなし。帰国後、私の放浪癖に気づいていた母からパスポートを取上げられましたが、それでも大学時代は香港へ香港上海銀行を見に行ったり、最初入社した会社の入社前社員研修でNYへ行ったりしました。海外勤務をしたくて最初の会社に入社しましたが、残念ながら海外勤務は叶いませんでした。しかし機会を見つけては海外へ家族旅

相原康隆(研修委員会 理事)



行、一人旅、社員旅行、研修、出張など様々な機会でも米国、カナダ、英国、仏国、ベルギー、伊国、バチカン、豪州、中国、香港、マカオ、タイなどへ。。英国一人旅では日本語より安かった英語でのバスツアーでイングランド・スコットランド・ウェールズを巡り、車内では世界中の英語の方言が飛び交う楽しい機会を得ました。24回も行けば他にも様々なエピソードはありますが、それは次の機会に。



ホストファミリーとの写真

## 建築士会からのお知らせ

### 大阪府建築士会会員の皆様 令和8年度定時総会のご案内

- 本年度の定時総会は5月20日(水)に開催いたします。詳細は下記QRコードのご案内兼出欠票をご確認ください。
- 定時総会は総正会員の1/3以上のご出席(委任状を含む)が必要となりますので、必ずご返信をお願いいたします。
- 議案書は当日会場にてお渡しいたします。



### 令和8年度 建築士定期講習

5/20、6/12、7/17、7/29、8/26、9/16、10/16、11/19、12/11、1/27、2/10、3/24

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和5年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

#### ▼日程・会場・定員

5/20(水)	大阪府建築健保会館	70名
※6/12(金)	大阪府建築健保会館	70名
※7/17(金)	(公社)大阪府建築士会 会議室	30名
7/29(水)	(一社)大阪府建築士事務所協会 会議室	20名
※8/26(水)	大阪府建築健保会館	70名
9/16(水)	大阪府建築健保会館	70名
※10/16(金)	大阪府建築健保会館	70名
11/19(木)	大阪府建築健保会館	70名
※12/11(金)	大阪府建築健保会館	70名
1/27(水)	(一社)大阪府建築士事務所協会 会議室	20名
※2/10(水)	大阪府建築健保会館	70名
3/24(水)	大阪府建築健保会館	70名

上記すべてDVD講習です。

※の日程：大阪府建築士会が運営

※以外の日程：大阪府建築士事務所協会が運営

注) 各回定員に達し次第、受付を終了します。

時間 9:15~17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前入金)

申込 建築技術教育普及センターHPより

### 令和8年度監理技術者講習

5/22、9/18、11/11、1/13、3/19

CPD6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、実務に役立つ情報を提供いたします。

日時 5/22(金)、9/18(金)、11/11(水)、  
1/13(水)、3/19(金)  
各8:55~17:00

会場 本会会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会HPより

### もう一度学ぶ「小屋裏換気とは」

ハウゼコ加西工場で学ぶ

日米の小屋裏換気基準の歴史と問題点  
～耐久性を上げる鋼板屋根の新技术～

6/4 CPD2単位予定

木造住宅における湿害などの事故事例の紹介や日米の小屋裏換気基準の歴史と問題点を整理するとともに、鋼板屋根の新技术を解説します。

セミナーのポイント

- ・近年の住宅トレンドと小屋裏換気の問題点
- ・小屋裏換気の基準と歴史
- ・小屋裏換気基準の問題点
- ・日本の屋根で今起こっていること
- ・屋根の新技术について

日時 6/4(木)  
14:00~16:30(集合12:50)

受講料 会員1,000円 一般2,000円

※建築士の方のみご参加いただけます

集合場所 JR姫路駅 南口前

会場 株式会社ハウゼコ 加西工場

定員 20名

### 東海道五拾七継を巡る 第4回

守口宿まちあるき

6/6 CPD3単位

「淀川地域・東海道五拾七継」の大江～淀～枚方～守口～大坂高麗橋までを5回シリーズで巡るまちあるき企画の第4弾です。

守口市駅集合～下見附～文禄堤～復元高札～旧徳永家住宅～盛泉寺・難宗寺～大塩書院跡・本陣跡～一里塚跡・上見附～京阪守口市駅で解散。

懇親会は守口市駅、予算は5,000円程度の予定です。

日時 6/6(土) 14:00~16:30  
終了後に懇親会を予定。

集合 京阪守口市駅西改札口(京橋側)に  
13:45集合

講師 守口門真歴史街道協議会 ガイド  
守口市市役所職員

定員 30名(申し込み先着順)

### AIを活用した共創ワークショップ

～老舗旅館を救え!～

ケーススタディで考える、再生プロジェクト

6/27 CPD2単位予定

建築士の「空間価値創造力」と中小企業診断士の「事業価値創造力」を掛け合わせ、積極的にAI活用し、双方の連携による新しい価値創造プロセスについて演習を通じて実践的に体感します。

日程 6/27(土) 14:00~16:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

受講料 会員2,000円

中小企業診断士2,000円

一般2,000円

定員 32名(申し込み先着順)



Informationの詳細及び申込みは大阪府建築士会ホームページに掲載しています。  
<http://www.aba-osakafu.or.jp/> メール [info@aba-osakafu.or.jp](mailto:info@aba-osakafu.or.jp)  
 TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

## 行政からのお知らせ

### 「第39回大阪市ハウジングデザイン賞」の推薦を募集します!

大阪市では魅力ある良質な集合住宅(共同住宅・長屋・戸建住宅の集合)を表彰する「大阪市ハウジングデザイン賞」を実施しています。今年度も次のとおり募集を行い、推薦いただいた方の中から抽選で50名様に図書カード(500円分)をプレゼントします。たくさんの方の推薦をお待ちしています。

応募締切 令和8年6月22日(月)

対象 大阪市内の集合住宅「共同住宅」「長屋」「戸建住宅の集合」

#### ①新築

令和3年4月1日以降に完成したもの

#### ②既存建物の改造等

令和3年4月1日以降に優れたリフォームやリノベーション等をしたもの

#### ③維持管理

平成18年3月31日までに完成し、良好な維持管理がなされているもの(築20年以上)

推薦方法 各区役所、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、住まい情報センター4階住まい情報プラザ、市役所1階市民情報プラザ等に設置のリーフレット内推薦はがき、または、下記ホームページ(行政オンラインシステム)からご応募ください。

<https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000590707.html>



マイホームデザイナーを使って施主に対する提案を可視化する3次元のモデリング、外観・内観パースの作成方法について習得します。

日時 5/9(土)、5/16(土)

10:00~16:45(2日間・合計12時間)

受講料 12,000円(税込)

#### ■BIMを用いた建築設計技術(モデリング編)~これからBIMを使いたい方に~

建築設計の生産性の向上を目指して、BIMソフトのRevitを用いたモデリング及び作成データの活用に関する技術を習得します。

日時 5/12(火)、5/19(火)

10:00~16:45(2日間・合計12時間)

受講料 12,000円(税込)

#### ■建築設計のためのコンピューショナルデザイン

建築設計の生産性の向上のために、ビジュアルプログラミングソフトを、外装材の割り付けや配置、複雑な屋根形状や勾配の検討などに活用する技術を習得します。

日時 6/3(水)、6/10(水)

10:00~16:45(2日間・合計12時間)

受講料 14,000円(税込)

詳細・申込 近畿職業能力開発大学校HPよりご確認ください。

<https://www3.jeed.go.jp/osaka/college/index.html>

### Talk Relay “わたしの推し” 記事募集

会員の皆さまの趣味やコレクション、特技、見聞など、リレー形式でご紹介していきます。建築に限らず、紹介したいこと、知って欲しいこと、広めたいこと、誘いたいこと、自己満足でも結構です。

会員の皆さまのコミュニケーションの場の一つとして、ご活用ください。

投稿をお待ちしています。

●詳細・申込は事務局まで

### 「建築人」Gallery掲載作品の募集

本誌「建築人」は毎月約3,000部を発行し、本会会員をはじめ官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。Gallery掲載作品は「建築人賞」の候補となります。

●掲載記事 1頁カラー、写真4点程度

●掲載費用 100,000円

※1 初回割引80,000円(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

※2 若手初回割引50,000円(40歳以下かつ建築設計事務所を主宰され※1を満たす方)

●詳細・申込 事務局担当:母倉

e-mail: [info@aba-osakafu.or.jp](mailto:info@aba-osakafu.or.jp)

TEL: 06-6947-1961

### 「建築人×写真家」掲載作品の募集

本企画は会員の皆様が手がけた建築作品を写真家MOAIによる独自の視点と表現でどのように“料理”されるかを楽しんでいただく企画です。

写真家MOAIの作風は、ハイコントラストや強めの色彩によって日常を非日常へと変換します。建築が竣工写真とは大きく印象が異なる“新しい姿”に生まれ変わることを楽しんでいただける方を歓迎します。

●詳細・申込は事務局まで

## その他のお知らせ

### 近畿職業能力開発大学校主催 能力開発セミナーのご案内

5/9、5/16 5/12、5/19 6/3、6/10

#### ■実践建築設計3次元CAD技術

基本設計図作成の効率化を目指して、3D

# 令和8年度 定時総会・記念講演会のご案内

平素は本会の活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。さて、本年度の定時総会を下記の通り開催いたします。ご多用とは存じますが、是非ご出席いただきますようご案内申し上げます。

●日程 **令和8年5月20日(水)**

●会場 **KKRホテル大阪・3階**  
(大阪市中央区馬場町2-24)  
「谷町四丁目」駅より東へ徒歩10分  
「森ノ宮」駅より西へ徒歩10分1

●予定 **14:00～14:50 定時総会**

第1号議案 令和7年度事業報告  
第2号議案 令和7年度財務諸表等  
報告 令和7年度監査報告  
第3号議案 令和8年度役員選任  
報告 令和8年度事業計画収支予算  
第4号議案 名誉会長委嘱

**15:00～16:30 式典・表彰式**

来賓祝辞拝受、名誉会員称号授与  
名誉会員表彰、永年会員表彰  
建築士会CPD制度表彰  
大阪建築コンクール表彰  
建築人賞表彰

**16:45～17:45 記念講演**

CPD1単位(予定)1

**18:00～19:30 懇親会**

会費7,000円(会場で申し受けます)

●出欠のご回答がまだの方は  
右記QRコードよりご回答ください



## 記念講演のご紹介

**新居 千秋氏**

(株)新居千秋都市建築設計  
代表取締役



### ▼テーマ「私の建築と時代」

良い建築が出現するには、時代、敷地、施主、建築家(その建築家の公共に対する考え)問題解決型ではなく、問題提起の思考、その建築家とチームが考えるプログラムやデザインスクリプトが重要になる。私は1980年のポストモダンの時代に建売から初めてヒストリカルクラシックイズムに陥らないアプローチを考え、ドメスティックな安価な構造で私たちの時代の建築を考え、人を感動させる空間を目指した。赤レンガ倉庫や砺波散居村ミュージアムで保全や100年以上前の建築にどう現代の建築家が答えるのかを考えた。2000-2015年のNature(自然の形から型)では私の中にある自然を作ろうとした。2020年代から邑(このムラという言葉は囲まれた場所を意味する)それを内部から突き破っていく手法にトライしている。ますます条件がきつい日本の建築にあって、どうすればその場所だけのリゾート(近くとも遠くともみんながぼんやりできる居場所)を作れるか頑張っている。45年間で400以上のコンペに挑戦し、1/8くらいの確率で勝って生き抜いている。ここまで来るのに、どんな人にどんな時代に影響を受けたかということを含めて、考えていることを聞いてもらえたらと思う。

### ▼プロフィール

1971年 武蔵工業大学工学部建築学科卒業(現、東京都市大学)  
1973年 ペンシルベニア大学大学院芸術学部建築学科修了  
1973年 ルイス.I.カーン建築事務所  
1974年 G.L.C(ロンドン市チームズミード都市計画特別局)  
1980年 新居千秋都市建築設計設立  
2026年～ 東京都市大学名誉教授

### ▼主な作品

1992年 水戸市立西部図書館	吉田五十八賞等
1995年 黒部市国際文化センター/コラーレ	日本建築学会賞等
2002年 横浜赤レンガ倉庫	日本建築学会賞等
2008年 大船渡市民文化会館・市立図書館/リアスホール	日本建築大賞等
2011年 由利本荘市文化交流館/カダーレ	日本建築家協会賞等
2021年 小牧市中央図書館	グッドデザイン賞等
2024年 越谷市緑の森公園保育所	
2026年 堺市浜寺小学校	
愛知県蒲郡市学校複合施設 現場進行中	
大阪府四條畷市コミュニティ複合施設 設計中	
東京都足立区千寿常東小学校 設計中	



水戸市立西部図書館



黒部市国際文化センター／コラーレ



横浜赤レンガ倉庫



大船渡市民文化会館・市立図書館／リアスホール



由利本荘市文化交流館／カダレ



新潟市秋葉区文化会館



小牧市中央図書館



越谷市緑の森公園保育所

# 動静レポート

## 会長動静

- 3/26 防衛医科大学協議
- 3/30 大阪府・財部住宅建築局長面談
- 3/31 日本ウクライナ文化交流協会・小野氏面談
- 4/1 大阪弁護士会正副会長就任面談
- 4/3 大阪府・中岡住宅建築局長面談  
日本建築材料協会・森村泰明副会長 黄綬褒章受章祝賀会
- 4/4 関西建設人ゴルフ大会
- 4/10 日本建築センターとのミャンマー技術支援会議
- 4/11 淡輪山荘事業竣工確認
- 4/21 大阪弁護士会役員就任披露会
- 4/22 理事会
- 4/23 東大阪市固定資産評価審議会
- 4/24 2025 ミャンマー大地震被災実地調査報告会

## 4月度 理事会報告

- 日時 4月22日(水) 16:00～17:30
- 場所 本会東会議室及びWEB
- 出席 理事 33/45名 監事 3/3名  
顧問・相談役 7名 役員候補者 10名

### 【審議・承認事項】

#### (1) 会計報告、入退会報告

- ・令和7年度収支決算  
当期経常増減額は11,774,105円となり、令和7年度の正味財産合計は80,908,528円であることを報告し承認されました。  
経常収益では、前年と比較し正会員費や応急危険度判定業務、行政受託業務等が減少したものの、特別事業となる全国大会の管理費負担等が要因となり約1,100万円の当期増収となりました。

#### ・公益法人の運営条件

- ①経常費用の合計額161,504,973円に対して、公益目的事業小計102,214,921円が1/2以上を占めること

- ②当期経常増減額の公益目的事業1, 2, 3ならびにその小計が全てマイナスであること

#### ③公益目的事業小計の当期一般正味財産増減額がマイナスであること

以上3点すべてを満たしていることを報告しました。なお、令和7年度の公益目的事業比率は63.3%で、公益法人の条件である50%を上回り、公益社団法人へ移行後の13年間の平均も74.8%と高い公益性を維持しています。

#### ・入退会動静

(人)	3月	入会	退会等
正会員	1,989	5	102
準会員	29	0	0
特別準会員	19	0	3
賛助会員(社)	168	0	4
計	2,205	5	109

上記の収支決算と入退会を承認しました。

#### (2) 定時総会について

- ・4/21時点の出席回答状況は497名(会場58名、委任状439名)で、総正会員の1/3となる定足数663名の約74%に達しています。

- ・スケジュールは、例年通り定時総会、理事会、式典・表彰、記念講演、懇親会を開催し、正副会長及び関係役員に運営協力を仰ぐとしました。

#### 【報告事項等】

#### (3) 事業執行報告

- ・定款第21条4項に基づき、会長、副会長、常任理事(部門長)、専務理事が事業執行報告を行いました。

- ・新設の建築士支援部門(会員サービス)は、会員サービスの充実と退会防止を主軸として、各委員会と連携して活動としました。

#### (4) その他

- ・8/7に賛助会員との親睦を深める納涼会を企画していることを報告しました。

- ・大阪府の古民家再生促進支援事業ならびに令和3年作成の「コンバージョンガイドブック」の改訂事業を受託予定であることを報告しました。

## 大阪弁護士会の中井洋恵会長及び副会長が就任挨拶のため来会

大阪弁護士会の中井洋恵会長、宮下幾久子・豊島ひろ江・坂川雄一・小坂田成宏・中森俊久・尾島史賢・堀田裕二の各副会長が、役員就任挨拶のため4月1日に来会され、本会の岡本会長、上田・横田の両副会長がお迎えいたしました。

紛争・訴訟に係る協働にむけた意見交換をはじめ、両団体の今後のさらなる連携について確認しました。



## 萬川幹夫理事が令和8年度憲法記念日知事表彰を受賞

本会理事の萬川幹夫氏が5月7日に建設関係の産業功労者として、令和8年度憲法記念日知事表彰を受賞されます。

氏は一級建築士資格の取得後33年間の長きにわたり、「安心・安全の器」としての住まいづくりを追求し、個性豊かでまちなみに優しい住宅の設計業務に携わってこられました。

平成10年に本会へ入会以来、建築相談委員会や地域まちづくり委員会、研修委員会、国際委員会、シニアサロンなど多くの委員会を通じて社会貢献活動に尽力し、平成15年に評議員、平成19年に理事に就任されました。

公職も多数ご担当され、これまでに大阪地方裁判所表彰、近畿調停協会連合会表彰等を受賞し、近年は日本国際博覧会協会建築技術指導顧問アドバイザーという重責を担われました。

この度の栄えある受賞を心よりお祝い申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍をお祈りいたします。

木

OSAKA HOUSING DESIGN AWARDS Since 1987

# 第39回 大阪市ハウジングデザイン賞

## — 推薦住宅募集 —

大阪市内のすてきな集合住宅をご推薦ください。

応募切  
締切

令和8年6月22日(月)

自薦・他薦は問いません。どなたでもご応募いただけます。

対象

- 大阪市内の「共同住宅」「長屋」「戸建住宅の集合」
- 1 新築 …………… 令和3年4月1日以降に完成したもの
  - 2 既存建物の改造等 …… 令和3年4月1日以降に優れたリフォームやリノベーション等をしたもの
  - 3 維持管理 …………… 平成18年3月31日までに完成し、良好な維持管理がなされているもの(築20年以上)

※大阪市内、大阪市住まい公社及び独立行政法人都市再生機構等の公的団体の事業等である住宅については、対象外となります。

撮影:名鉄一推

撮影:有限会社住

撮影:新長太

ご推薦いただいた方の中から  
抽選で  
**50**名様に  
図書カードをプレゼント!  
(500円分)

応募  
方法

区役所などに推薦ハガキ付リフレットを置いています。  
もしくは下記ホームページからも応募できます。  
<https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibij/page/0000590707.html>

お問合せ

 大阪市都市整備局 企画部住宅政策課  
民間住宅助成グループ  
大阪市 TEL:06-6208-9226



学び舎を通した環境教育の試み

慶応義塾幼稚舎 一九三七～二〇〇二年

文・写真 松隈洋 [神奈川大学建築学部教授]

二〇二六年一月九日、縁あって、先駆的な初等教育の実践現場を参観する機会に恵まれた。東京都渋谷区広尾にある慶応義塾幼稚舎（小学校）に於いて、図書館司書の岩井祐介教諭が、二〇二四年から六年生向けに始めた選択授業「幼稚舎の建築」である。何が先駆的なのか、といえば、授業の題材が、児童たちが日々学び、遊び、慣れ親しんでいる身近な学び舎であり、長い時を過ごす生活空間としての校舎そのものだからだ。今も

現役で使われている校舎は、すべて谷口吉郎（一九〇四～七九年）と谷口吉生（一九三七～二〇二四年）親子二人が設計を手がけたものである。六棟の校舎名と竣工年を列挙すれば、吉郎の本館・小体育館（一九三七年）、自尊館（一九六四年）、一〇〇年記念棟（一九七六年）から、父の後を受け継いだ吉生の新体育館（一九八七年）と新館二（二〇〇二年）までとなり、歴史的な厚みも見えてくる。もともと三田に建っていた幼稚舎の



校庭で自由に遊びまわる児童たち



岩井祐介教諭の選択授業風景

本造の旧校舎は、一九二三年九月一日の関東大震災でも大きな被害は免れたという。けれども、震災後の荒廃した都心の劣悪な環境の下では、児童たちの健康は守れない、との判断から、理事会は、自然に恵まれている郊外の広尾への移転と、耐火・耐震性能を持つ鉄筋コンクリート造による校舎の新築を決断したので。一九三二年、その設計者として抜擢されたのが、東京工業大学助教授の谷口吉郎二十七歳である。理事会の要望を受け、谷口が目指したのは、児童たちが安全で快適に過ごすことのできる「健康第一主義」の学び舎の実現だった。こうして、一九三七年、スチーム床暖房を備え、通風と採光の良い掃き出しのガラス窓のある教室と、各階の校庭側に広いテラスを巡らせた開放的な空間構成を持つ白亜の本館と小体育館が誕生する。興味深いことに、続く太平洋戦争の戦禍にも耐えて、今もその原形を良くとどめる幼稚舎には、当時の児童たちの文集も大切に保管されている。ある児童は、新しい校舎について、次のように書き留めていた。

「天現寺橋のほとり、白いスマートなコンクリート造の校舎こそ、僕等の新幼稚舎である。（…）外側は真白だが、中も亦同じようにきれいだ。（…）此の新校舎は南側に全部ベランダがあり、下級生の方は東側にベランダがある。そして寒い時期にはスチームが床の下に通っていて、頭痛がしないように出来ている。此の為に僕は病気をまぬかれた事がある。（…）広い屋上も初めてだが、其所で遊ぶ気持は又何とも言えない。（…）天気の良い日教室

に居ると、ベランダの方のガラス戸に日光がさしこんで、室の中がまぶしい程明るい。（…）僕等はどういうきれいな校舎に入ったのだから、一層よく福澤大先生のお遺しになった「独立自尊」のお教えを守って、立派な人にならなければならぬ」（小林敦「新校舎生活」『文と詩』第六卷第三号一九三七年五月発行）

この文章からは、日中戦争へと突き進む時代の暗さは感じられず、清新な校舎に初めて触れた喜びが伝わってくる。何よりも素晴らしいのは、当時の児童の記した校舎の印象を、そのまま、遠く時を隔てた現在の児童たちも変わらずに体感できていることだ。また、そのことは、この学び舎が、竣工時のみずみずしさを失わずに大切に守られ、生きられ続けて来たことの証でもある。そして、今回参観することのできた六年生向けの特別授業が意義深いのは、児童たちが、こうして何も知らずに全身で接してきた校舎の成り立ちや、そこに込められた設計意図と方法を、最終学年になってはじめて学ぶ試みになっているからだと思う。

この日は、児童たちに、谷口親子の建築の現況写真を建物名を明かさずに見せながら、興味を惹かれるものはいずれか、と選ばせ、それがどんな施設なのか、を問いかける方法で、建築を見る眼を育てようとしていた。そうは言っても、元氣あふれる育ち盛りの児童たちのことだ。おそらく、試行錯誤の繰り返しなのだと思像される。岩井教諭は、その実践を振り返った最新の文章に、次のように書き留めている。

「気付いたことは、『学校建築は建築を学ぶ上での教材になる』ということである。学校はアーカイブが充実している。校内には文集や新聞といった利用者側の記録が残っており、まさに「ユーザー・マインドの建築アーカイブ」が存在している。これらは教材として活用できる。（…）自分たちで校舎を観察し、研究し、伝える活動を通して、建築を識り、建築を語る。学校建築は、建築という文化を保存し、活用し、未来へ引き継いでいくことができる、豊かさを持っている。」（建築アーカイブと教育『ARTICLE』第六四号、慶應義塾アート・センター発行）

このような小学校での環境教育の実践を聞いたことがなく、感銘を覚えた。岩井さんとの出会いは、二〇一四年暮れに、筆者が企画協力し、金沢市民芸術村で開催された建築展「谷口吉郎・谷口吉生」展・金沢が育んだ二人の建築家」に始まる。時を経た二〇一七年、この展覧会を観たという岩井さんから突然の依頼があり、二〇一八年一月、幼稚舎の校舎についての教諭向けの講演に赴いた。その時、軽い気持ちで、ここで学ぶ児童たちに校舎の魅力を伝えてほしい、とお願ひしたのだ（本連載二〇一八年三月号）。岩井さんの行動は早かった。教諭有志と日土小学校や神戸女学院、金沢の谷口記念建築館などを視察してまわり、二〇二〇年に、五、六年生対象のクラブ活動として、建築研究会を立ち上げたのだ。それから六年、今は正規の選択授業となった地道なその環境教育の実践は、建築への理解を持つ市民を育てる画期的な試みとして、多くの示唆を建築界に与えるに違いない。



機能維持耐震天井工法

## FMS天井

超軽量 2.0kg/m<sup>2</sup>以下  
特定天井 非該当

新築・耐震改修を問わず  
意匠性も妥協しない  
告示耐震天井基準をクリア

耐震水平基準 2.2G / 鉛直加速度 1G  
建築技術性能証明取得  
(GBRC 性能証明 第23-13号)



✉ [info\\_fms@ashibane.co.jp](mailto:info_fms@ashibane.co.jp)

🌐 <https://ashibane.co.jp>

